

令和7年度 保護者アンケート結果 (7月実施)

回答データ 94人/216人 (43.5%) 垣花小学校

	評価項目	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない
1	子どもは、進んであいさつをしている。	41	45	14	0
2	子どもは、学校へ行くのが「楽しい」と言っている。	54	39	4	2
3	子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。	36	53	7	3
4	子どもは、「です」「ます」等のていねいな言葉づかいをしている。	27	44	23	6
5	子どもは、家庭学習・自主学習をしている。	49	31	15	5
6	学校は、学習のきまり(聞く態度・姿勢・学習用具の準備 等)の指導を行っている。	70	28		20
7	学校は、校内の様子や学習状況等についてお知らせしている。(公文・スクリレ・HP等)	71	28		01
8	学校は、子どものことについて、適切に相談に応じている。	67	29	4	0
9	学校は、子どもの努力を認め、よいことをほめている。	73	26		10
10	学校は、子どもの発表の場や活躍の場を積極的につくっている。	63	34		30
11	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	51	44	5	0
12	学校は、事故の防止や避難の仕方等の安全対策を行っている。	72	26		20
13	学校は、学習環境(施設・設備・緑化 等)が整っている。	59	39		20
14	学校は、マナーやルール等の規範意識を守る態度を育てる取り組みを行っている。	62	34		30
15	家庭では、子どもの将来の「夢」や「進路」等について話している。	52	32	14	2
16	家庭では、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着を行っている。	46	50		31
17	家庭では、家庭学習・自主学習の時間を設定し、学習のチェック(サイン等)をしている。	47	35	17	1
18	地域の行事やPTA活動等に進んで参加している。	28	31	32	10

〈考察〉

- 2, 6～14と16は、AB判定(肯定的な回答)合計が90%を超えている。
- 7「学校からのお知らせ」と9「努力の承認と称賛」で、AB判定の合計が99%と最も高い。
また、6,8,10～14,16も95%以上と高い。
→ **学校の取り組みや先生方の努力等に対して、保護者から認められている。**
家庭における望ましい生活習慣の定着も図られている。
- CD(否定的)判定で最も高いのは、18「地域行事やPTA活動への参加」で、AB判定を合わせても59%と過半数を超えているが、約4割の否定的な回答者がいる。
→ **参加しやすく・負担感のないPTA活動を目指していること、コロナ後の地域との連携の希薄化が考えられる。参加を促す活動や呼びかけを行っていく。**
- 4「ていねいな言葉遣い」のCD判定は合計が29%になっていて、約3割の児童に課題がある。
→ **学校や家庭・地域等において、よりていねいな言葉遣いを意識づけていかなければならない。**

